

# ある当事者の言葉から

## 開会あいさつ

児玉 龍彦

一般財団法人在宅がん療養財団 会長、東京大学名誉教授

◆この原稿を書いている私は、ステージ4の大腸がんです。がんになって3年が経ちました。大腸カメラで検査した当日にがんと告げられ、その10日後には手術、1月後には放射線治療と化学療法が始まり、3カ月後には肺転移のため手術、6カ月後には肝臓転移のための手術と過酷な日々を送ってきました。

がん発覚から1年半後、新たな転移が見つかり、医師からは余命宣告を受け、現在は延命のための化学療法を続けています。

◆がんになって感じたことは、がん治療は情報戦だということです。「手術をするのか」「抗がん剤をするのか」「放射線をするのか」「何もしないのか」、それを決めるのは、医師ではなく自分です。抗がん剤の副作用や体調不良に対応するのも自分です（もちろん、医師からも様々なアドバイスはありますが）。

50代女性 編集者

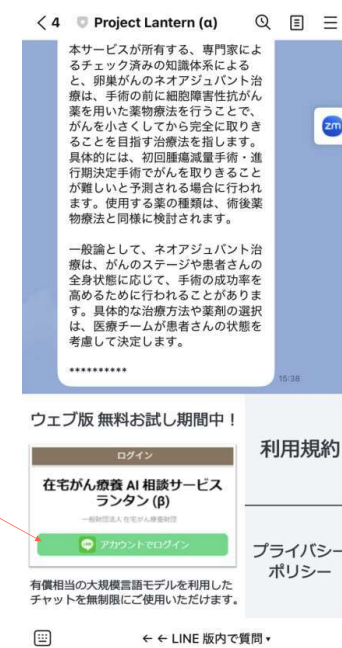
ランタンでいつでも、どこからでも、誰でも質問できる

- QRコードを携帯のカメラで読み込む
- project lanthern (β)
- LINE アカウントでログイン
- 「許可する」



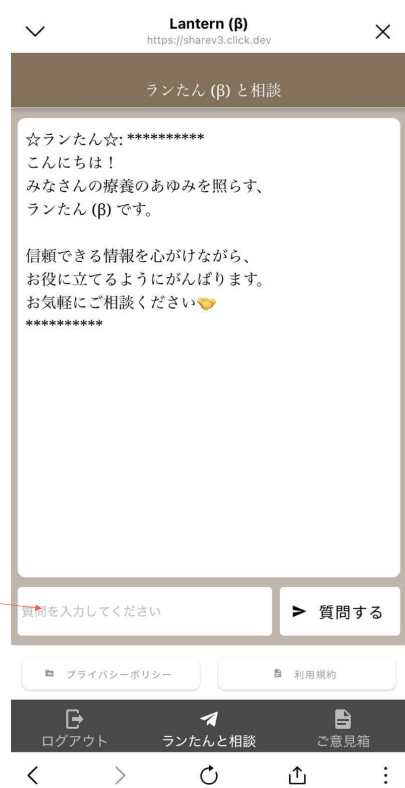
## ランタン (β) をテスト

- QRコードを携帯のカメラで読み込む
- project lanthern (β)



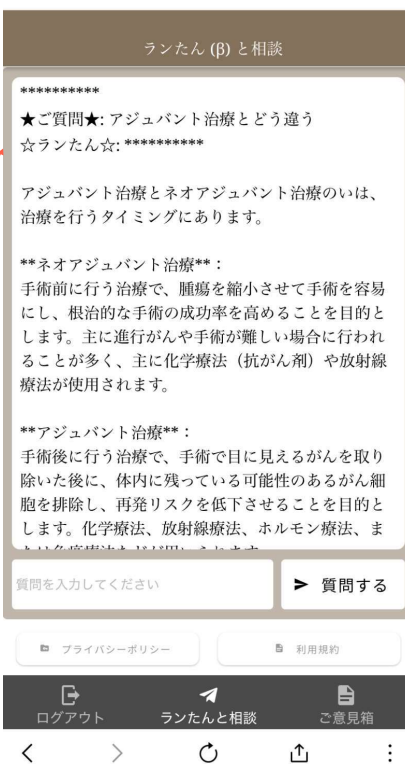
## ランタン (β)

- QRコードを携帯のカメラで読み込む
- project lanthern (β)
- LINE アカウントでログイン
- 質問を入れる (例 卵巣がんのネオアジュバント治療とは?)



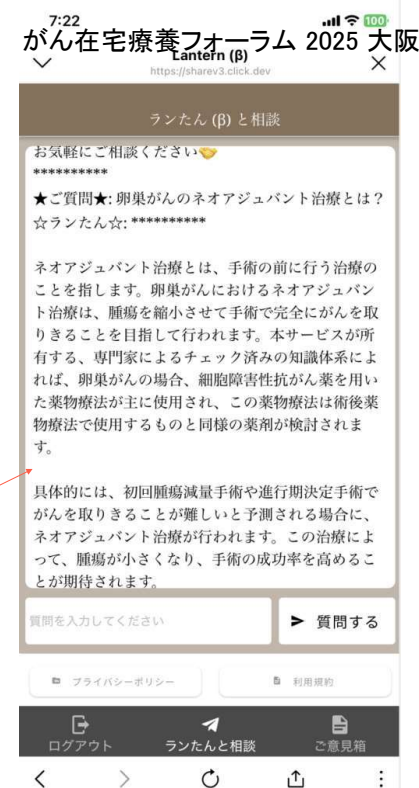
## ランタン (β)

- QRコードを携帯のカメラで読み込む
- project lanthern (β)
- LINE アカウントでログイン
- 質問を書いて (例 卵巣がんのネオアジュバント治療とは?) 質問するの矢印をクリックする
- 答えが出てくる。これまでのα版は、質問が一つづつだったが、β版は、続けて質問できる。



## ランタン (β)

- QRコードを携帯のカメラで読み込む
- project lanthern (β)
- LINE アカウントでログイン
- 質問を書いて (例 卵巣がんのネオアジュバント治療とは?) 質問するの矢印をクリックする
- 答えが出てくる



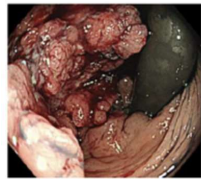
## いつでも、誰でも、どこからでも相談できる「ランタン」

- 何を質問していいかわからない。あれよあれよという間に、病状は進み、自分が受けている治療法は果たして正解なのか、この病院でいいのか、なぜこの検査を受けるのか、身体の不調にどう対処したらいいのか。疑問ばかり。
- ランタンならスマホから何回でも相談できる。こうした疑問に、スマホで、いつでも相談できるサイト「ランタン」を開発しました。なんでも聞きましょう。情報 (=知識) は力です。そして希望です。希望があれば前向きに治療に向き合えます。

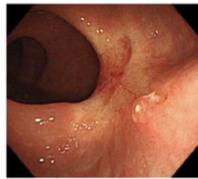
# 標準治療の劇的な変化

- ・ 外科手術 「拡大切除」か「てがない」
- ・ 外科手術後に再発が心配 → アジュバント治療
- ・ 手術できない例に術前放射化学 → ネオアジュバント
- ・ 転移も全身化学療法と併用 → トータルネオアジュバント\*
- ・ 術前治療がよく効いたら → watch and wait

(\* NCCN 2025 Jan Rectal Cancer, Physician 3ヶ月に1回程度 改訂)



治療前



治療後（手術前）

がん研究会ホームページから引用。  
<https://www.jfcr.or.jp/hospital/cancer/type/colon/002.html>  
術前の放射化学療法で改善が認められた場合には、切除、全身薬物療法、経過観察でwatch and waitの場合もある。